

～家庭用品品質表示法規程の改正～ 衣類等の洗濯表示が変わります!

その2

新しい「取扱い表示」の具体的な例

表示は取り扱い方の「上限」を表しています。
表示よりも強い扱い方で洗濯したり、高い温度でアイロンがけすると、
衣類にダメージが生じるおそれがありますので、注意しましょう!



☞「たらい」の絵で表していますが、「手洗い」表示以外は洗濯機使用が可能です。

家庭洗濯

家庭での洗い方

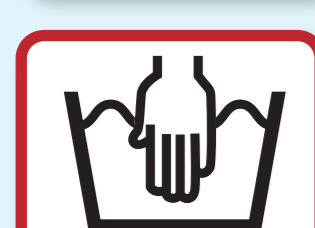


家庭での洗い方(洗濯機洗い、手洗い)です。



「40」などの数字は洗濯温度の上限です。

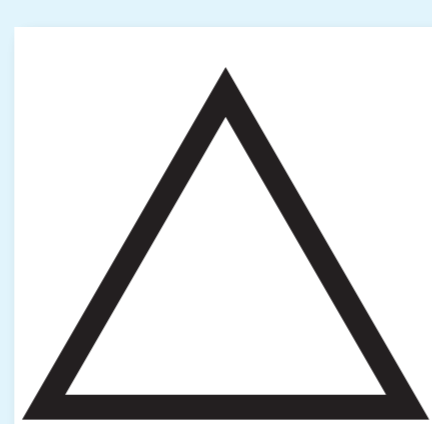
*左の場合は「40℃以下」で洗います。
「-」は「線なし」よりも弱く、「=」は更に弱い洗濯機での洗い方です。



押し洗いなどの、「手洗い」で洗います。一番優しい洗い方です。上限温度は40℃です。



家庭での洗濯はできません。



☞「塩素系漂白剤」だけでなく「酸素系漂白剤」の使用が可能かどうかも表示されるようになります。

漂白

漂白



漂白ができます。

△塩素系漂白剤も酸素系漂白剤も使えます。

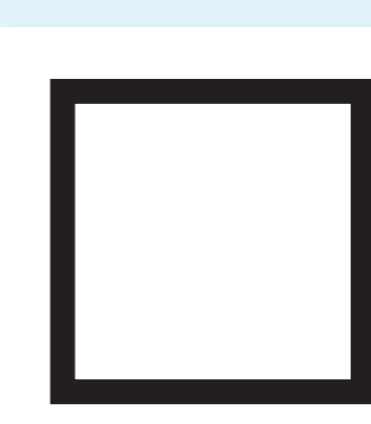


△酸素系漂白剤のみが使えます。

*酸素系漂白剤は、ほとんどの色柄物に使える漂白剤です。



漂白剤は使えません。

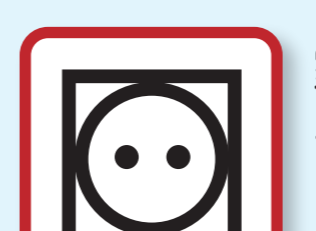


☞「タンブル乾燥」「自然乾燥」それぞれについて、付加記号と組み合わせで使用します。
*タンブル乾燥とは…乾燥機の中で、洗濯物を回転させながら温風で乾燥させる方法です。

乾燥

乾燥

タンブル乾燥



家庭用のタンブル乾燥機が使えます。記号内の「点(・)」は乾燥温度を表します。



「・・」はヒーターを「強」などに設定します。
「・」はヒーターを「弱」などに設定します。



タンブル乾燥はできません。

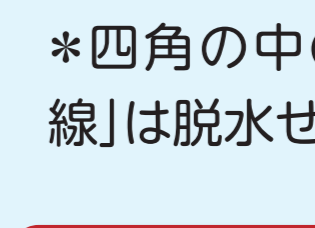
自然乾燥



「つり干し」をします。
*ハンガーにかけるか、小物干しなどに吊るして干します。



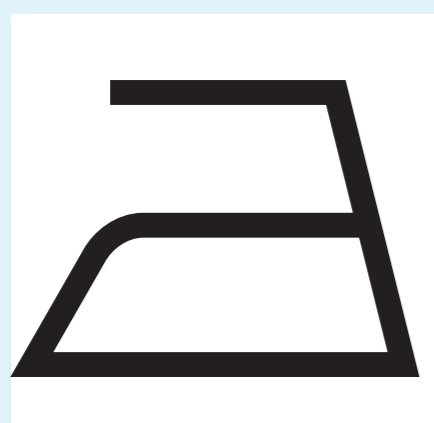
「平干し」をします。
*平らな場所に広げて干します。



*四角の中の「1本線」は脱水して、「2本線」は脱水せず(絞らず)に干します。



「斜線」はひさしや屋根を表しているので陰干しをします。



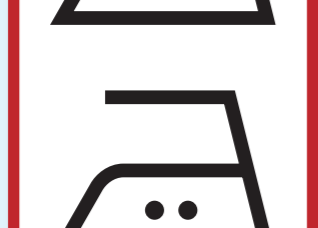
☞「・」の数が増えるほど、温度が高くなることを表します。

アイロン

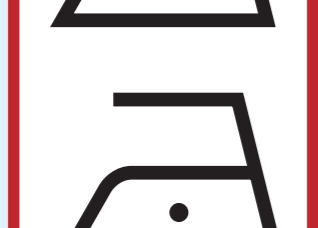
アイロン仕上げ



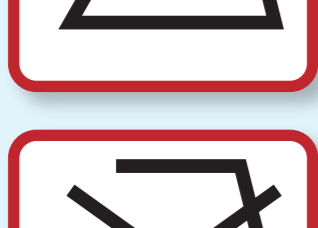
アイロンを掛けることができます。記号内の「点(・)」の数はアイロンの底面温度の上限を表します。



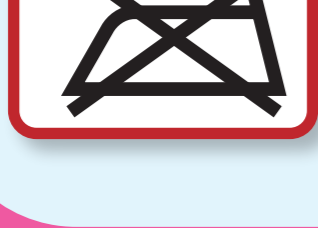
「・・・」200℃まで



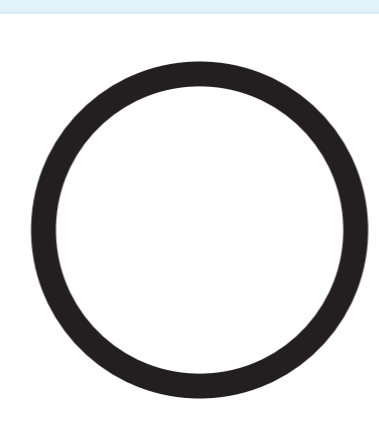
「・・」150℃まで



「・」110℃まで



アイロンは掛けられません。



☞クリーニング店に依頼する際の「ドライクリーニング」または「ウェットクリーニング」の表示です。

商業クリーニング

クリーニング店での洗い方



ドライクリーニングができます。

Ⓟパークロロエチレンなどの溶剤を使用します。



Ⓡ石油系溶剤を使用します。



ウェットクリーニングができます。
*クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いと仕上げによる洗濯です。



ドライクリーニングはできません。



ウェットクリーニングはできません。

【注意】

「ウェットクリーニング可」でも、「家庭での水洗い不可」がついていたら、専門業者に任せましょう!

- 「取扱い表示」のタグやラベルは、お洗濯やお手入れの基本です!よく読みましょう!
- 衣類を購入する際も「取扱い表示」を確認して、購入後のお手入れなどの参考にしましょう!